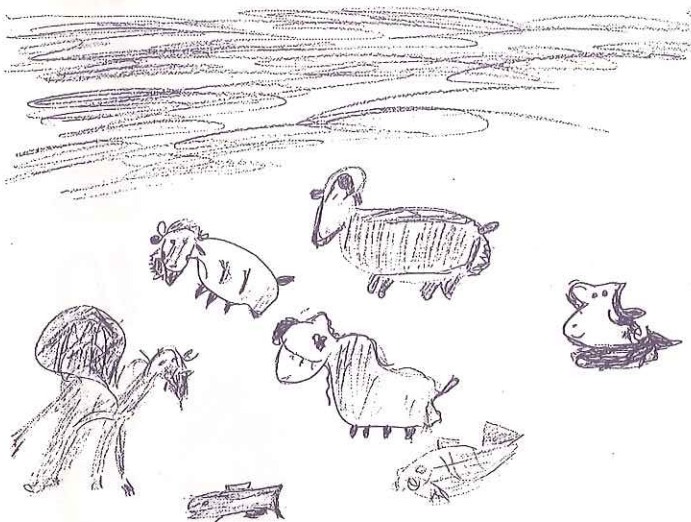


働こう障害者も 働けるんだオレたちも こぶしだより

企 画：社会福祉法人 こぶしの会
発行責任者：藤田勝春
編集責任者：田澤幸子
発 行：社会福祉法人 こぶしの会
(〒321-0902)
宇都宮市柳田町1401番地



けやきデイサービスセンター
塚本 展子さん

もくじ

- ①特 集 新年のごあいさつ..... 2・3 ページ
- ②仲 間..... 4・5 ページ
- ③保護者..... 6 ページ
- ④トピックス..... 7・8・9 ページ
- ⑤掲示板..... 10 ページ

社会福祉法人
こぶしの会

- 法人事務局 こぶし作業所・生活支援センター ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp.
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
●デイサービスセンター TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail t.keyaki@ba.wakwak.com.
- セルプ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@ar.wakwak.com.
- 第2 けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
●県東ライフサポートセンター TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
E-mail dai2keyaki@ba.wakwak.com.
- グループホーム ☎321-0954 栃木県宇都宮市元今泉6-14-20
こぶしのときわ荘 TEL 028 (662) 5533
- グループホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
すずらんの家 TEL 028 (677) 4430

新年のごあいさつ



明るい希望をめざして

社会福祉法人こぶしの会

理事長 藤田勝春

二〇〇三年の新しい年を迎え、皆様におかれてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

福祉法人こぶしの会の設立から二〇年をこえこぶし作業所が開所し、さらにけやき作業所、セルプ・みらいの開設など大きく発展してきました。また多くのケア・サービス施設、グループホームができ、これから総合福祉関係施設として発展していこうと努力を重ねていくところです。二〇〇三年

は、福祉にとって大きな変化の年といえます。これまでの戦後の福

祉政策は障害者とは身体的・精神的な障害を持ち健康な人にくらべて正常な社会生活ができない人とされてきました。ハンディキャップをもった人を保護しなければならぬというのが基本的な考えです。障害者年金がその柱でした。また障害者施設に入るときも行政が入所先を決め、必要な経費についても措置費として施設に支払われました。措置の言葉にあらわれたようにあくまでも行政の措置であり障害者の意思及び主体性はなら配慮されておりませんでした。

しかし、障害者も人間であり、自己決定権を持ち社会のなかで人として尊重されなければなりません。

本年より措置費の制度が改正され支援費の制度に改正されます。支援費制度とは、障害者がさまざまな福祉施設を比べて自分に一番適した施設と支援の内容を討議し、合意すれば契約を締結しその施設に入所するものです。その入所に必要な経費は支援費として行政から支払われます。戦後の長い運動により、障害者が保護の対象から人間として認められたのです。障害は単なる人間の個性に過ぎないことが制度として認められました。社会福祉法人こぶしの会も厳しい障害者の目を意識し人間味のある豊かな施設運営を考え、老朽化したこぶし作業所の改築にも早急に着手したいと希望しています。

ごあいさつ

長期計画策定委員会

委員長 石橋俊一

二〇〇三（平成一五）年が期待と不安のうちに明けた。期待と不安とは、国のこれまでの障害者施策が関係法に立脚しながら措置（費）制度で適用されていたものが社会福祉基礎構造改革の名のもとに来年四月一日から支援（費）制度へと転換されることに対してである。これについては社会福祉法人こぶしの会（以下こぶしの会）経営の各施設利用者みなさんをはじめ、これを支援してきた職員や保護者のみなさんも共有できるものであると思う。

周知のとおり、一九四五（昭和二〇）年、いわゆる戦火で疲弊しきったわが国の復興は時代を背負う青少年の教育と健全育成こそが

大切だとわれわれの先輩世代は、一九四七（昭和二十二）年に学校教育法や児童福祉法をいち早く制定し、実践することにした。さらに一九四九（昭和二十四）年に身体障害者福祉法、翌年精神衛生法および一九六〇（昭和三十五）年に精神薄弱者福祉法と身体障害者雇用促進法、そして一九七〇（昭和四十五）年心身障害者対策基本法があいついで制定され、障害児と障害者それぞれについてその教育や福祉及び関連分野の充実・強化を課題として取り組まれてきた。

こぶしの会は、これらの動向に関連して一九七四（昭和四十九）年八月にこぶし共同作業所設立準備会をスタートさせ、翌一九七五（昭和五十）年四月に開所している。その四年後に養護学校設置が義務化され、その卒業生たちを中心として「共同作業所」や「福祉作業

所」が正に燎原の火の如く全国的に誕生し、地域に根ざした施設としてわが国の民間社会福祉事業の一翼を担い一定の役割を果たし貢献することになった。

こぶしの会が、これらに先立っていち早く地域に居住する知的障害者とその保護者のニーズをくみ上げ共同作業所を開設したことは、全国的なモデルとして先達の役割を果たしたといっても決して過言ではなからう。この間、各種の当（障害）者グループをはじめ保護者の全国組織や専門職能団体などの要望運動によって、精神薄弱者福祉法は知的障害者福祉法へ、精神衛生法は精神保健法を経て精神保健及び精神障害者福祉に関する法律へ、身体障害者雇用促進法が障害者の雇用促進等に関する法律へ、さらに心身対策基本法が障害者基本法へと改正され、その

延長線上に支援費への転換の年を迎えたのである。それだけに期待と不安が大きい訳である。

次に不安とは、措置費制度時代の「措置」（権）の行使（行政処分）によっていたものが、選択・契約権を行使することを保障する支援費制度として障害者主体へ転換することになり、長年望んでいたことで歓迎すべきことであるものの、しかしその実態となると果たしてどうなるかということである。すでにこの不安は施設経営面での見通しに暗雲を投げかけ、大きな当面する課題となり立ちふさがっている。合わせて在宅福祉サービスの必要経費の上限を抑制する動きも出てきて、つい先日、障害者団体の国当局に対する抗議や陳情によって一定の方向付けがされ、解決するという厳しい現実には遭遇した。

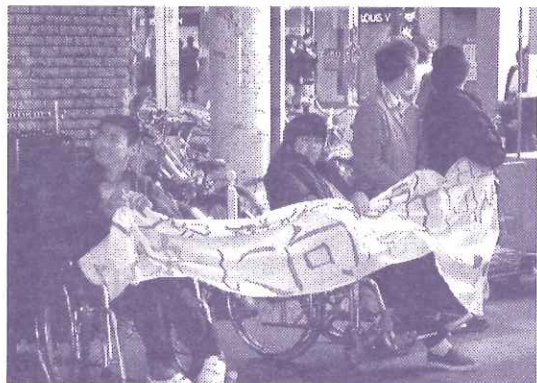
こぶしの会でも施設利用者が主体者としての権利行使を普段に継続しなければならぬし、同時に職員にも保護者のみなさんにも求められるものであることを忘れてはならないと思う。そうしてこそ障害者主体の選択と契約が文字通り保障され実のある生活が確保されると思う。そのためには、こぶしの会の第二次長期計画もこれらを視野に入れつつ策定することが課題であろうと思う。関係するみなさんのご協力を年頭にあたり心からお願ひしごあいさつにかえる次第である。



きようされん第二六次 国会請願統一行動

きようされんの国会請願統一行動は、一二月三日
全国一斉に行われました。

去る一二月三日火曜日、参加会
員九施設、総勢五一名で宇都宮オ
リオン通り西入口と109前の二ヶ所
で、きようされん第二六次国会請
願署名・募金活動、そして同時に



「寒さんかに負けないぞ! 笑顔で勝負だ」

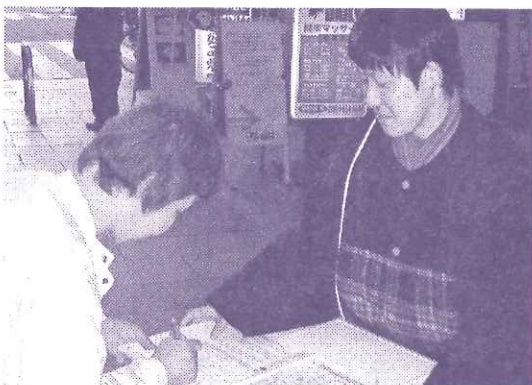
対県・対市交渉を行いました。障
害者の方々がもつと社会参加がで
きるように、また生活向上を目指
し、参加されたみなさんはそれぞ
れ署名用紙をはさんだ画板や、募
金箱、スローガンが書かれた横断
幕を持ち、ハンドマイクで通りか
かる歩行者の方々に自分たちの思
いを訴えました。今回の活動目標
数は、署名が二〇〇筆、募金が三
万円でしたが、二時間という短期
間にもかかわらず、一般市民が関
心を寄せていることをうかがい知
ることができました。結果は署名
数二五六筆、募金額四二、八四八円

の成果を上げることができました。

対県・対市交渉には中山支部長、
高橋全国理事、成田事務局長、そ
して対市交渉のみにこぶし作業所
の方々が参加し、要望書を提出し
ました。

同じ日に全国各地で行われた活
動には参加者三千人、署名一万人、
募金一三七万円と大きな結果を残
すことができました。

署名は四月いっぱい取り組みま
す。みなさんのご協力をお願い
します。



「ありがとう!」



「茶髪だって福祉に関心あるんです!」



「ここに書いて下さい」



利用者の健康を考える

―グループホームの食事作りを通して―

今回は、こぶし作業所のグループホーム「こぶし」ときわ荘」にスポットを当て、「食」を通して、利用者の健康を守るためにどのような取り組みをしているか、尋ねてみました。

まずは、夕食作りを始め、ときわ荘のパートとして生活を見てくださっている田代幸恵さんにかがってみました。

田代さんは、食事作りを通してどんなことに気を配っておられますか。

まずは、食事のバランスを考えますね。それから、家庭での味を、ときわ荘で生活する利用者にわかっていたいただきたいと思っております。

それから、野菜を中心としてメニューを考えています。肉が中心とならず、野菜の量も考えて料理を作ります。また、味付けは薄味にして、カレー等は甘口にするなど、あまり濃くならないようにしています。

季節感のあるメニューも考えています。

ます。冬は煮込みうどんにしてみました。夏は冷やし中華を作ったりということもしています。必ず、デザートや果物をつけて変化を付けています。

利用者の食事を見ていて、いかがですか。

初めはとまどいもあったようですが、たが、今では、みんな感じよく食べていただいているので安心です。仲間一人一人、好き好きはありますし、嫌いな物もあります。そんなことも考えて、三品はおかずを作るようにしています。そうすれば、あれはきらいだけれどもこれは食べられるというように、どれかは食べてもらえます。

次に、以前より週一回食事作りをしてくださっているボランティアの小林文子さんにかがってみました。

小林さんは、食事作りでどんなことに気を配っておられますか。

当時、ときわ荘で世話人をしていた担当者から、利用者の健康を考えて食事を作っていることを聞き、野菜と魚を中心にしたメニューを考えています。痛風やその他体に気を付けてなくてはならない人が多いので、気を使っています。

私のメニューは、昔からの和食で、私の家でも作っているメニューです。テレビで「粗食のすすめ」をやっていたときもありました。

利用者の声はどうですか？

「おいしい」と言ってくれます。でも、最近は忙しくて直接利用者に会うことができなくなってしまいました。

田代さん、小林さん、お忙しいところを取材にご協力いただき、ありがとうございます。

きょうされん賛助会員募集!!

賛助会員になると

- ①福祉の新しい動きがわかる。
- ②「TOMO」が購読できる。その他盛り沢山！
賛助会費は年間1口3,000円です。

事務局：けやき作業所 TEL 028(687)1040まで

カット&パーマ 着付

ビューティーサロン

青山

TEL 028-677-0045
FAX 028-677-0253

おむすび

保護者
リレートーク

今回はこぶし作業所、鬼頭友章さんのご家族の登場です。

〈こぶし作業所との出会いは?〉

高等部の現場実習が始まりでした。国分寺養護学校時代に、学校から紹介されました。実習には三カ所行つて、その中でもこぶしが一番友章と相性が良かったのです。周りは知らない人ばかりでしたが、すんなり落ち着いていたかなと思います。

〈こぶしに通いはじめの頃は?〉

卒業と同時に正規入所としてこぶし作業所に入りました。ちょうど、空気が出たところに入れたのです。当時の仕事は、友章が「バリ取り、ゴムはがし」と言っていました。やつてもなかなか持続しなかったと思います。当時の行事は、今とそんなに変わらなかったですね。バザー、旅行、キャンプとありました。



〈今ではどうですか?〉

大人になったと思います。

家での生活は、CDが好きですね。よく歌をかけています。それから、散歩が大好きです。自分から「散歩行こう」といい、犬を自分で連れて歩いていきます。散歩は大好きです。

親と一緒に買い物はいやがりません。日曜作業所の買い物訓練では分りませんが。

給料は、貯めておいて、乗り物に乗って出かけるのに使います。貯金もしたいのですが・・・

〈将来望んでいることは?また、こぶしへの要望は?〉

親の元気なうちに、グループホー

ムのようなところで生活できたらいいと思います。世話人がいて、落ち着ける生活ができたらと思います。地域の中で、こぶしの仲間と数人で暮らせたらいいですね。仲間同志はいろいろと難しいことありますが、

こぶしの仲間となら安心です。本人が楽しく通えて、怪我のないように通えるこぶしであってほしいと思います。

2月の休所日

- こぶし作業所
- けやき作業所
- けやきデイサービスセンター
- 第2けやき作業所
- セルプ・みらい

1日(土)・2日(日)
8日(土)・9日(日)
15日(土)・16日(日)
22日(土)・23日(日)

● サポートセンター

1日(土)・2日(日)
8日(土)・11日(火)
15日(土)・16日(日)
22日(土)・23日(日)

2月のこよみ

全体(法人)

20日(木) 保護者支援費説明会

こぶし作業所

21日(金) 総括会議
(利用者は休所になります)

けやき作業所

けやきデイサービスセンター

第2けやき作業所

8日(土) 職員会議

サポートセンター

5日(水) カラオケDAY

9日(日) 日曜開所

セルプ・みらい

1日(土) 総括会議
20日(木)・21日(金)・24日(月)・25日(火)・
28日(金) 外食Day

大入御礼！クリスマス兼忘年会

昨年十二月二日(日)に県東ライフサポートセンターリラックスマルームで、平成一四年を締めくくる地域交流行事としてクリスマス兼忘年会を盛大に行いました。

今回の行事は、企画・準備から利用者さん有志の方に入っていたいただき、特に案内のチラシはM町のOさんがパソコンでカラフルに美しく仕上げてください、その見事な出来栄えに賞賛の声をたくさんいただきました。

当日は朝から何人かの利用者さん、ボランティアさん、そして関係機関の方々が準備から駆けつけてくださり、一時半の開会時には見事にたくさんのごちそうが並びました。センター長挨拶を経てサンタクロースより参加者おひとりおひとりにスタッフの愛？のこもった手作りカードが手渡され、利用者さん代表の方の乾杯の音頭の後、参加者全員でクラッカーを鳴らしカラオケを楽しみながらの食事が始まりまし

た。カナッペ、チキン、サンドイッチ、ピザにフルーツパンチ：などでお腹いっぱいになった後はゲーム大会！三億円ゲームに〇×クイズ、そして最後は恒例のビンゴで盛り上がり、参加者全員にプレゼントが行き渡ったところで、最後に手作りケーキを食べた時に誰からともなく声があがり、全員で静かに聖しこの夜を合唱しました。

二四名の利用者さん、二名のご家族、そしてボランティアさん、県東健康福祉センターの保健師さん、真岡ひまわり作業所の指導員さん方、暮れのお忙しい中本当にありがとうございます。総勢三五名での行事でリラックスマルームが手狭でご迷惑をおかけしたかと思いますが、ぜひまた参加して下さいね。

新春・寿

こぶしの会では昨年二つのおめでたい話がありました。

矢板橋敦さん

けやき作業所デイサービスセンター勤務。

昨年五月に入籍され、一月に結婚式を挙げられました。

「目標とする夫婦像は？」の質問に迷うことなく「両親です」と即答されていました。

仕事が決まらなければならハネムーンに行く予定だとか・・・。

仕事と家庭との両立をしながら共に歩む人生は、野を越え山越え谷越えと苦労も多いと思いますが、いつか拓ける幸せ目指して、どうぞ、末永くお幸せに・・・。

大島(宮岡)麻美さん

こぶし作業所勤務。

昨年七月に入籍され、一〇月に結婚式を挙げられました。

「理想の家庭は？」の質問に「笑顔の絶えない明るい家庭を築きたい」と話されています。

一週間のハネムーンも無事済ませ、今では結婚前と変わらずバリバリ働いています。



歓迎!! ボランティア



けやき作業所では、ボランティア登録制を実施しており、平成一四年

一二月現在、一九名の方々に登録いただいております。作業所内のボランティアにとどまらず、町主催のIT講習会や町民祭などの後援会活動などにも幅広く活躍していただいております。

ボランティアの多くは学生で、町内在住の方から、遠くは佐野・足利

の大学生が活躍、県外の方もおられます。

今回登録者の一人であります、大学生の浅山淑子さんにお話を伺いました。

ボランティアのきっかけは？

福祉専攻ではないのですが、大学の実習で施設に行くようになり、もつといろんな施設のことを知りたいと思ったのがきっかけです。あと就職活動ということもあるかな。

けやきとの出会いは？

同じ芳賀町で以前から知っていたことや、知り合いがけやきを利用していると聞いていたので。

今後どのような活動をしたいですか？

今は就職も内定したのですが、ボランティアは続けたいです。



仕事が始まって活動できるというだけでなく……。

福祉関係の資格も取りたいので独学になるだろうけど、勉強もしたいです。

これからボランティアをしてみたいという方々に一言

私的には「机上の学問より体験」と思っています。自分の目で感じてきたことや、思ったことを大切にしていきたいと思っています。が……。勇気をもって一歩踏み出してみると福祉に対しての印象が随分と変わると思えますよ。

お忙しいところ、取材に応じて下さいましてありがとうございます。また、ボランティアのお力なしでは達成が難しいと思います。

また、ボランティア活動を自分発見の一つとして、更に、同じ地域社会に共に生活する住民同士の相互理解を深める意味で、是非ボランティアを経験してみませんか？ ごぶしの会関係者一同、心よりお待ちしております。



屋外保冷庫が 寄贈されました！



セルプ・みらいに、自動車総連栃木地方協議会より屋外用大型保冷庫が寄贈されました。これは、自動車総連の福祉活動の一環として、セルプ・みらいのお弁当事業を応援して下さるというものです。一二月二四日、自動車総連青木議長、飯塚事務局長、染谷市議、そしてみらいの利用者全員が出席し、贈呈式が行われました。

すでに、寄贈された屋外保冷庫は、保護者や後援会・地域の方々からいただいたき物の野菜やジュースなど、厨房内に設置してある冷蔵・冷凍庫の容量では対応しきれないものを保管するのに大活躍しております。そして、それらの食材を使うことで弁当の内容がより豊かになり、お客様に喜んでいただいています。今後、

弁当注文の増加に伴い食材の仕入れが多くなると思われますので、この屋外保冷庫をフル活用できるように弁当事業の拡大に力を入れていき期待にこたえたいと思います。ありがとうございました。



チャリティーモンゴル絵画展を終えて

セルプ・みらい後援会の今年度の事業計画のひとつモンゴル絵画展の開催を初秋の頃から準備を始めて作業をしてまいりました。会場は真岡商工会議所の大会議室に決定しました。二月一四日、一五日、一六日の三日間です。

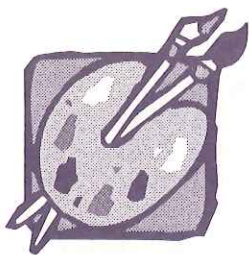
を頂きました。皆様にも有意義な時間を過ごしていただけたと思います。

絵を寄付していただきました東岡様にも遠路はるばるお忙しい中ご来場いただきました。本当にありがとうございました。

また、多方面の方々に色々な形で協力をいただき所期の目的を果たすことが出来ましたことに御礼申し上げます。

セルプ・みらい後援会

石川 富士子



・ 掲 示 板 ・

こぶしだより 協賛広告 募集!!

こぶしだよりはあなたとこぶしの会をつなぐホットライン
 こぶしだよりは、社会福祉法人こぶしの会が発行する機関紙です。
 こぶし作業所、けやき作業所 セルプ・みらいで行う事業 福祉情勢、
 利用者のナマの声、家族の想いを「こぶしだより」で伝えます。

**こぶしだより協賛広告は一口5,000円から。
 名刺大で掲載させていただきます。
 年間掲載は42,000円 とってもお得！**

お問い合わせ	
こぶし作業所	028(662)1911
けやき作業所	028(687)1040
セルプ・みらい	0285(81)1155
ライフサポートセンター	028(687)1311

**おいしい・・・
 セルフ・みらいの
 日替りお弁当 ^{1個} 500円**

大好評ご予約承り中!!





おいしさを
お届けします

お問い合わせ
セルフ・みらい
 TEL 0285(81)1155
 FAX 0285(81)1177

**けやき作業所
 にこにこパン屋さん**

手づくり、焼きたての
 おいしいパンです。
 例えば、あんパン100円
人気商品 ホテルブレッド440円

各種豊富に取りそろえて
 おります。注文票をFAX
 にてお送りしますので、
 お気軽にご連絡下さい。

にこにこパン屋さん
 TEL・FAX
 028(687)1788へどうぞ。